



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月8日

上場会社名 テラボウ(寺田紡績株式会社)  
 コード番号 3128 URL <http://www.terabo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

(氏名) 大濱 二三夫

(氏名) 川崎 康雄

TEL 072-431-2424

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,228	△18.4	25	△51.0	30	△42.3	17	△43.4
23年3月期第2四半期	1,504	27.4	52	852.4	53	750.9	30	973.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.34	—
23年3月期第2四半期	2.36	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,036	1,238	60.8
23年3月期	2,091	1,221	58.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,238百万円 23年3月期 1,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	△12.3	100	29.4	100	22.6	60	21.6	4.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	13,000,000 株	23年3月期	13,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	14,210 株	23年3月期	13,280 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	12,985,897 株	23年3月期2Q	12,988,618 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報 」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、回復の動きが続いています。

生産や輸出は、震災による落ち込みからの回復過程に比べてペースは緩やかになっていますが、増加を続けています。このような状況下で、設備投資は被災した設備の修復もあり、緩やかに増加しています。個人消費も、一部に弱さが残っているものの、全体としては持ち直しています。また、住宅投資は持ち直しの動きが明確になっており、公共投資も下げ止まりつつあり、わが国経済の先行きは、緩やかな回復基調に復していくと考えられます。

海外経済は、当面減速するものの、基調的には、新興国を中心に底堅く推移するものと考えられます。このため、輸出は、海外在庫の復元の動きもあって、緩やかな増加基調をたどると見られます。こうしたもとの、設備投資、住宅投資、公共投資は、資本ストックの復元に向けた動きもあって、徐々に増加していくと考えられます。労働市場を見ると、震災の影響から厳しさがやや増してはいましたが、雇用面については小幅のプラスで推移していると見られます。

一方、国内企業物価は3ヵ月前比で見ると、国際商品市況の動きを反映して、横這い圏内の動きとなっており、消費者物価(除く生鮮食品)の前年比も横這いとなっています。物価の先行きについても、ほぼこの水準で推移すると見られています。

このような情勢のもとで、当社はエコロジー(環境)に貢献する社会的存在感のある企業を目指すという基本理念のもと、成型用樹脂の一貫生産会社として、事業の効率化と合理化を図り、業容の拡大に努めてまいりましたが、当社の樹脂コンパウンド事業につきましては、東日本大震災の影響が長引き、特に自動車・建材用途を中心に大きく需要が落ち込みました。シート・プレス事業については、ほぼ計画通りに推移しました。

売上高、売上総利益の前年同四半期比の減少理由に、タオル事業を平成22年12月31日に事業譲渡した事も影響を与えております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,228百万円(前年同四半期比18.4%減)、売上総利益164百万円(前年同四半期比32.4%減)、営業利益25百万円(前年同四半期比51.0%減)、経常利益30百万円(前年同四半期比42.3%減)、四半期純利益17百万円(前年同四半期比43.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ、現金及び預金64百万円、設備投資63百万円と減価償却費43百万円等による有形固定資産15百万円とそれぞれ増加し、たな卸資産18百万円、営業外受取手形109百万円とそれぞれ減少したこと等により、前事業年度末比54百万円(同2.6%)減少し、2,036百万円となりました。

負債につきましては、前事業年度末に比べ、仕入債務37百万円の増加、借入金30百万円、未払法人税等8百万円、設備関係支払手形44百万円、設備関係未払金5百万円、退職給付引当金8百万円とそれぞれ減少したこと等により、前事業年度末比71百万円(同8.2%)減少し、798百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上により利益剰余金が前事業年度末に比べ17百万円増加したこと等により、前事業年度末比17百万円(同1.4%)増加し、1,238百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績につきましては、震災後の回復テンポが当社想定より緩やかな推移となり業績は下振れいたしました。売上高では、商品販売は伸長したものの、主力の製品販売(自社ブランド品・受託品)が落ち込み、当初予想を下回りました。利益面では、収益性の比較的高い製品販売の売上高が落ち込んだことに加え、生産調整による製造加工単価の上昇も影響して、売上利益が悪化しました。その影響により営業利益、経常利益、四半期純利益もそれぞれ当初予想を下回りました。

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、今後、落ち込んでいた製品販売の回復が見込まれることに加え、生産調整から脱することで、製造加工単価の低下が見込まれることなどを踏まえ、通期の業績予想は平成23年5月10日発表の予想を修正しておりません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	315,422	380,302
受取手形及び売掛金	602,134	600,896
商品及び製品	151,464	136,465
原材料及び貯蔵品	73,258	70,119
その他	148,436	26,551
貸倒引当金	△500	△500
流動資産合計	1,290,216	1,213,834
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	311,524	371,781
機械及び装置(純額)	214,306	277,929
土地	75,322	75,322
その他(純額)	137,630	29,354
有形固定資産合計	738,784	754,388
無形固定資産	3,743	13,280
投資その他の資産	58,452	55,310
固定資産合計	800,980	822,978
資産合計	2,091,197	2,036,813
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	300,602	337,887
短期借入金	128,886	128,886
未払法人税等	12,521	3,589
賞与引当金	13,790	18,221
その他	122,352	58,025
流動負債合計	578,152	546,609
固定負債		
長期借入金	157,190	126,914
退職給付引当金	127,704	119,544
その他	6,942	5,254
固定負債合計	291,837	251,712
負債合計	869,989	798,322
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	575,000	575,000
資本剰余金	125,263	125,263
利益剰余金	522,347	539,690
自己株式	△1,402	△1,462
株主資本合計	1,221,208	1,238,491
純資産合計	1,221,208	1,238,491
負債純資産合計	2,091,197	2,036,813

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,504,824	1,228,059
売上原価	1,261,822	1,063,679
売上総利益	243,001	164,380
販売費及び一般管理費	190,809	138,807
営業利益	52,192	25,572
営業外収益		
受取利息	2,312	2,138
物品売却益	—	2,739
債務勘定整理益	598	1,468
雑収入	2,838	2,188
営業外収益合計	5,749	8,535
営業外費用		
支払利息	2,891	2,749
固定資産売却損	852	—
雑損失	1,004	654
営業外費用合計	4,749	3,404
経常利益	53,192	30,703
税引前四半期純利益	53,192	30,703
法人税、住民税及び事業税	2,178	2,247
法人税等調整額	20,351	11,113
法人税等合計	22,530	13,361
四半期純利益	30,662	17,342

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。